

梯川直轄河川改修事業(石川県小松市)

災害時の効果発揮事例

5か年加速化対策や3か年緊急対策等による築堤や河道掘削の実施、赤瀬ダムによる洪水調節により、令和4年8月の大雨時において、能美大橋付近（河口から7km付近）では水位を約2.7m低下させ、梯川本川からの越水を回避し、浸水被害を防止。

■実施主体: 国土交通省北陸地方整備局

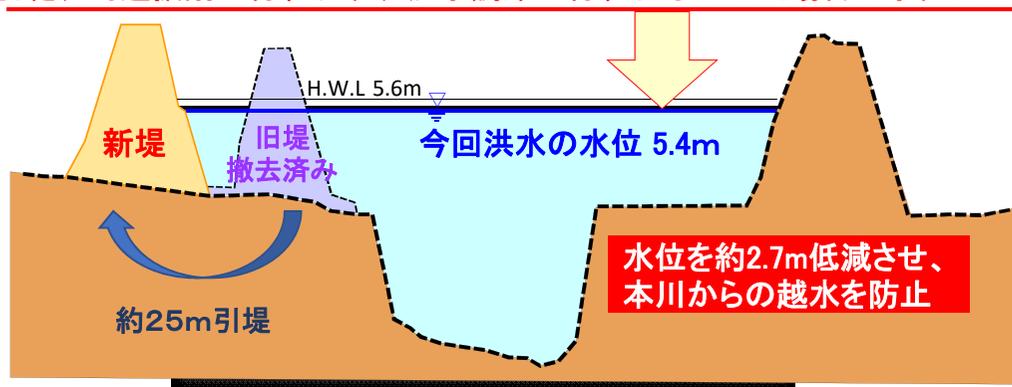
■対策の概要及び事業費

主な事業	対策内容	事業費	対策期間
河川改修事業	築堤、河道掘削	約117億円	H30~R4
うち3か年緊急対策	河道掘削	約27億円	H30~R2
うち5か年加速化対策	築堤、河道掘削	約25億円	R2~R3

水位低減効果

能美大橋付近

引堤、河道掘削が行われず、洪水調節が行われなかった場合の水位8.1m



【令和4年8月大雨時の効果】

未整備の場合

引堤、河道掘削やダムによる洪水調節が行われなかった場合、外水氾濫により、小松市の中心市街地で浸水するなどの被害が想定された

260mm/24時間の雨量を記録
(観測史上第1位) ※尾小屋雨量観測所

外水氾濫による被害なし

※上流部では引堤、河道掘削が未実施だったため、一部区間で越水氾濫が発生。

※本資料の数値はR4.8時点の速報値であり、今後の精査等により変更となる場合がある。

